

TOTO

床上排水便器施工説明書

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への
危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う 可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容 です。 左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」 内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
--	--	---	---

 注意	
	陶器に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。

2 部品の確認

※部品があるか、下表を参照して確認してください。

名 称		個 数	略 図
便 器		1個	
固 定 金 具 袋	パッキン	1個	
	固定片	1個	
	皿木ねじ	1本	
	木ねじ（固定片用）	2本	
	ワッシャー（固定片用）	2枚	
施工説明書		1部	
化 粧 キ ャ ッ プ 袋	化粧キャップ（前）	1個	
	化粧キャップ（後）	2個	
	便器取付木ねじ	2本	
	ワッシャー	2枚	

3 各部の名称と施工のポイント

ポイント①

木ねじを強く締めすぎて便器を
割らないようにご注意ください。

ポイント②

①火や熱で加工したり、切ったりしないでください。
②溶剤や接着剤を塗布するとパッキンが溶けるおそれがあります。
③取り付けには必ず水石けんを使用してください。
水石けんを使用しないとパッキンが切れるおそれがあります。
④取り付け後は必ず水溜試験を行い、水漏れしないことを確認してください。
⑤取り付け後、水漏れする場合はPシール(TOTO品番：T Z106A)をパッキンと陶器排水口の境目に充てんしてください。

陶器排水口にパッキンを取り付けた際の状態について、
以下を確認してください。
【パッキン側面図】

排水管側

便器側

パッキンのヒダが傾く × 陶器排水口先端がはみ出る ×

便器排水口高さ、口径の陶器公差・排水管の高さの施工誤差によっては、パッキンがはみ出すことがあります。
水溜試験の結果、水漏れしていなければパッキンがはみ出
していても品質的に問題はございません。

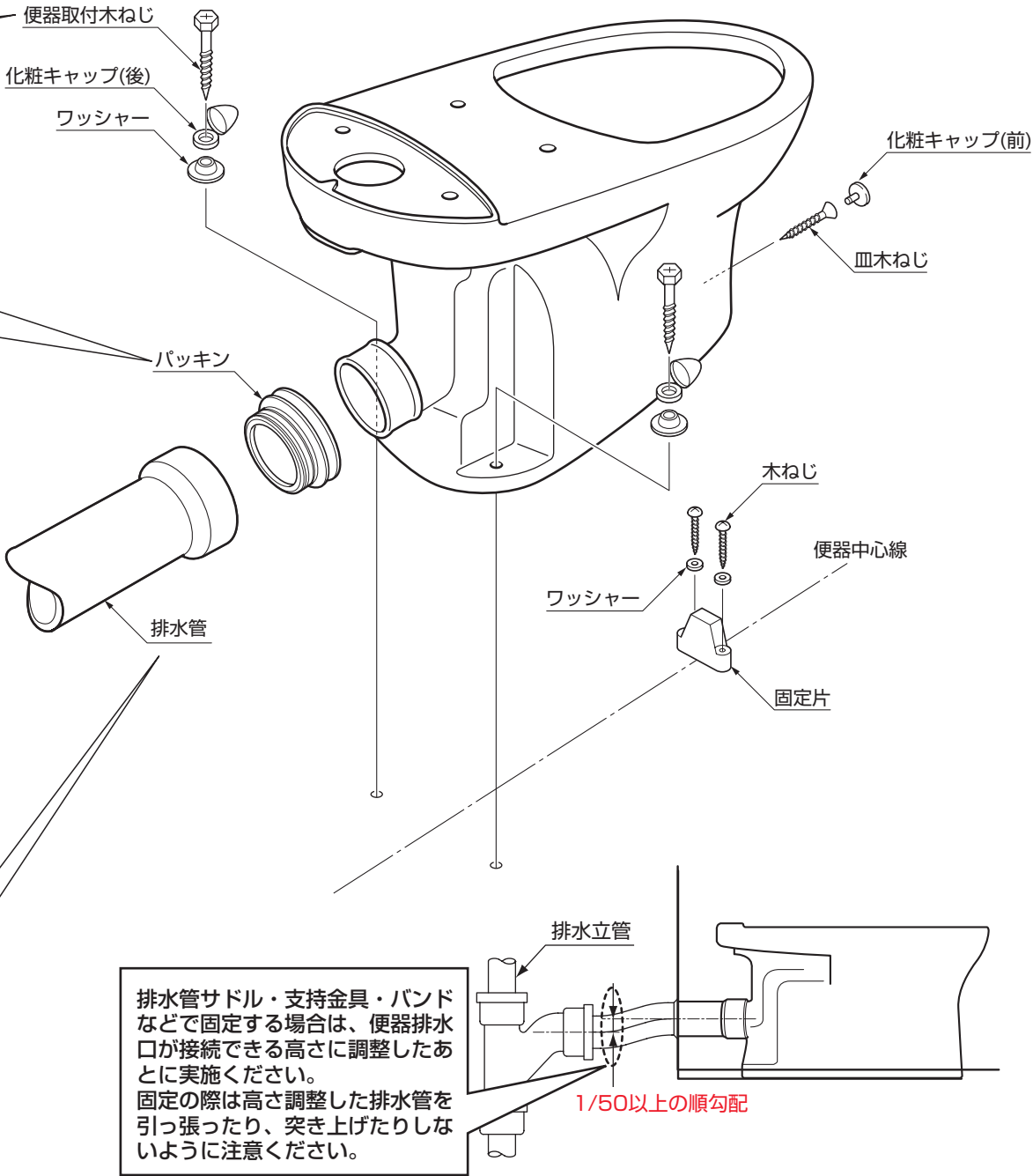
ポイント③

排水管は、必ず1／50以上の勾配を確保してください。

 **注意**

 **必ず実行**

排水管を逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具
のトラップ内に逆流するおそれがあります。

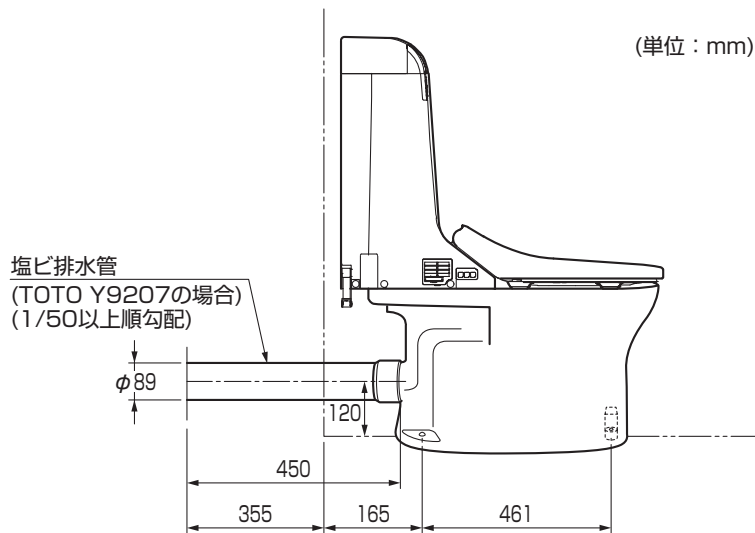


4 便器施工要領

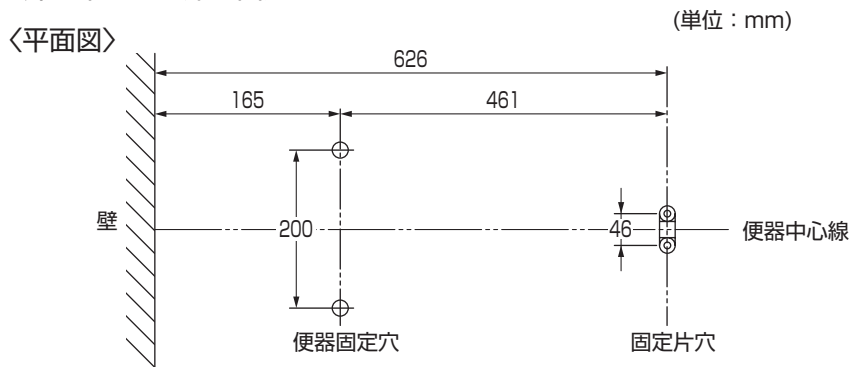
① 固定片の位置決めと取付け

■下図を参照して、排水の接続が所定の位置になるように便器を仮置きし、便器取付木ねじの位置をけがいてください。

※このとき、便器中心線と便器の中心がほぼ一致するように注意してください。



■便器をはずし、便器取付木ねじの位置を基準に便器中心線上に、固定片の位置をけがいてください。(下図を参照ください)
床面がタイル・コンクリートの場合、固定穴4ヵ所に下穴をあけるなどの前処理をしてください。
固定片を木ねじで床に固定してください。

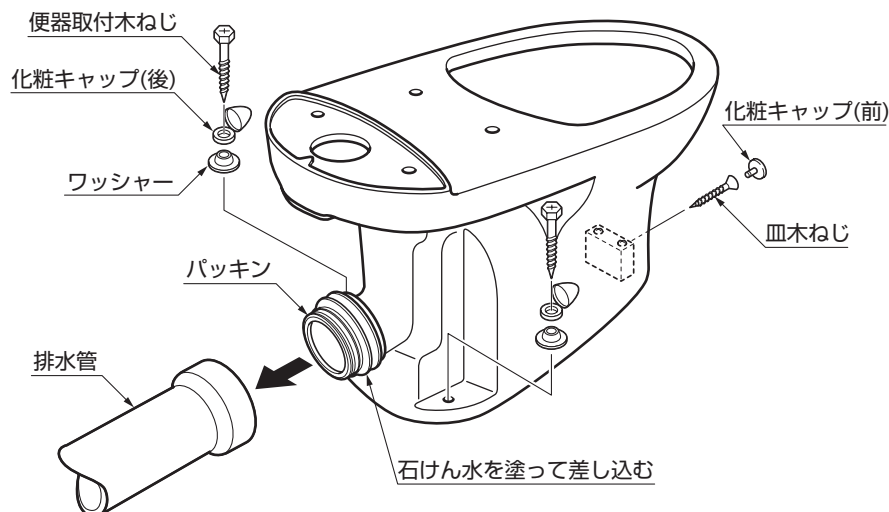


② 便器の取付け

※便器排水口高さには寸法許容差がありますので、排水管設置の際は排水管位置を便器排水口高さに調整後、本固定を行ってください。

■便器排水口に接続パッキンを取り付ける。

■便器を排水管に差し込み、便器取付木ねじで床に固定する。



※便器取付木ねじを強く締めすぎて便器を割らないようにご注意ください。

※排水管は、必ず1/50以上勾配を確保してください。

⚠ 注意



必ず実行

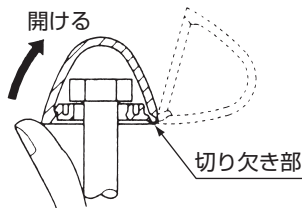
排水管を逆勾配にしない

器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

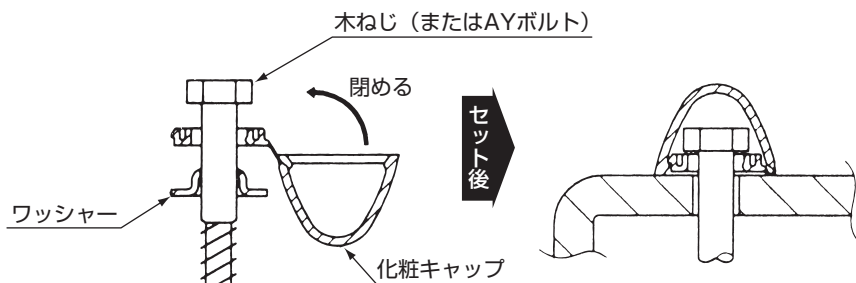
③ 化粧キャップ付ねじの固定

③-1 取り付け

■最初に化粧キャップを開ける。
開け方は、ねじを手で持ち、切り欠き部をよけて化粧キャップの下部を矢印の方向に指で押し上げる。



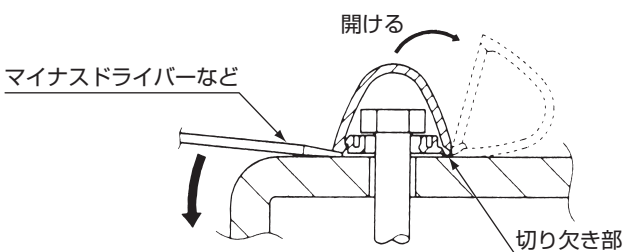
■ねじを取り付ける前に、化粧キャップとワッシャーの順番、向きを確認し、間違えないよう取り付ける。



■ねじを取り付けたあとは、化粧キャップを矢印の方向に曲げて、「パチッ」と音がするまで押し込む。

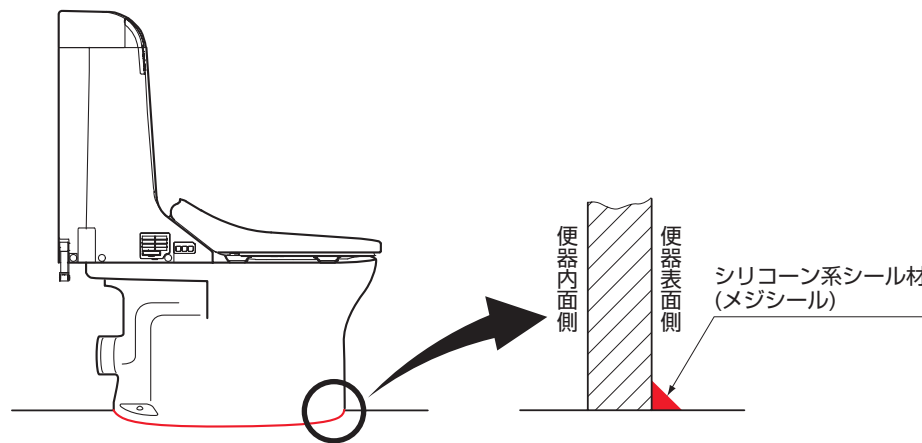
③-2 取り外し

■施工後にねじを外すときは、マイナスドライバーなどを使用し、化粧キャップの切り欠き部をよけて下部に差し込み、矢印の方向に押さえて開ける。



お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング（木質系）を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング（木質系）を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シーリング材(メジール)を充てんすることをおすすめします。



防振シート HR800S（オプション品）

集合住宅（RC構造）では、トイレの小用時の音が階下へひびくことがあります。TOTOの防振シートは、床上排水タイプの腰掛便器と床の間に取付けることで、床を通じて階下に伝わる小便行為音（伝搬音）を効果的に低減しますのでご利用されることをおすすめいたします。

防振シートの厚み分（5mm）排水・壁給水接続位置が上がりますのでご注意ください。

④ ウォシュレット本体の取り付け

■ウォシュレット本体の取り付けに当たっては、ウォシュレットに付属の施工説明書にしたがってください。